



株式会社 **ニコン**
広報・IR部

中期経営計画の進展

2009年5月13日
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的风险及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

中期経営計画目標推移



これまで実績は順調に推移、計画を上方修正した

	06年3月期 実績	09年3月期 目標	07年3月期 実績	10年3月期 目標	08年3月期 実績	11年3月期 目標
売上高	7,309億円	9,000億円	8,228億円	1兆円	9,558億円	1兆2,000億円
営業利益	666億円	900億円	1,020億円	1,250億円	1,352億円	1,600億円
経常利益	435億円	800億円	896億円	1,150億円	755億円	1,000億円
					当期純利益	
					755億円	1,000億円

06年3月公表 07年5月公表 08年5月公表

ニコンを取り巻く環境



経済動向

日米欧の消費減退

新興諸国の成長鈍化

失業率の増加

金融不安

事業環境

半導体分野

2010年3月期後半からの回復を期待

デジタルカメラ分野

緩やかな市場拡大と競争激化

為替

円高基調が続く

中期計画の方針と目標を再設定

経営数値目標



	09年3月期	10年3月期	12年3月期
売上高	8,797億円	6,800億円	8,000億円
営業利益	482億円	▲120億円	720億円
当期純利益	281億円	▲170億円	400億円

為替の前提 09年3月期 USD101円 ユーロ144円(実績)
10年3月期 USD 95円 ユーロ125円
12年3月期 USD 85円 ユーロ115円

2011年3月期に黒字化を達成し2012年3月期に継続的成長軌道に戻す

2010年3月期	事業構造・収益構造を改革
	損益分岐点を引き下げ
2011年3月期	景気回復局面に向けた対応開始
	黒字化を達成
2012年3月期	継続的成長軌道に戻す

世界不況後の市場環境に対応し継続的に成長する

■ 厳しい環境にも対応できる収益力の強化

- 一層の円高に耐えうる生産体制の構築
- 市場変化に適するようグローバルに事業拠点を統合
- 新興国市場の開拓・深耕

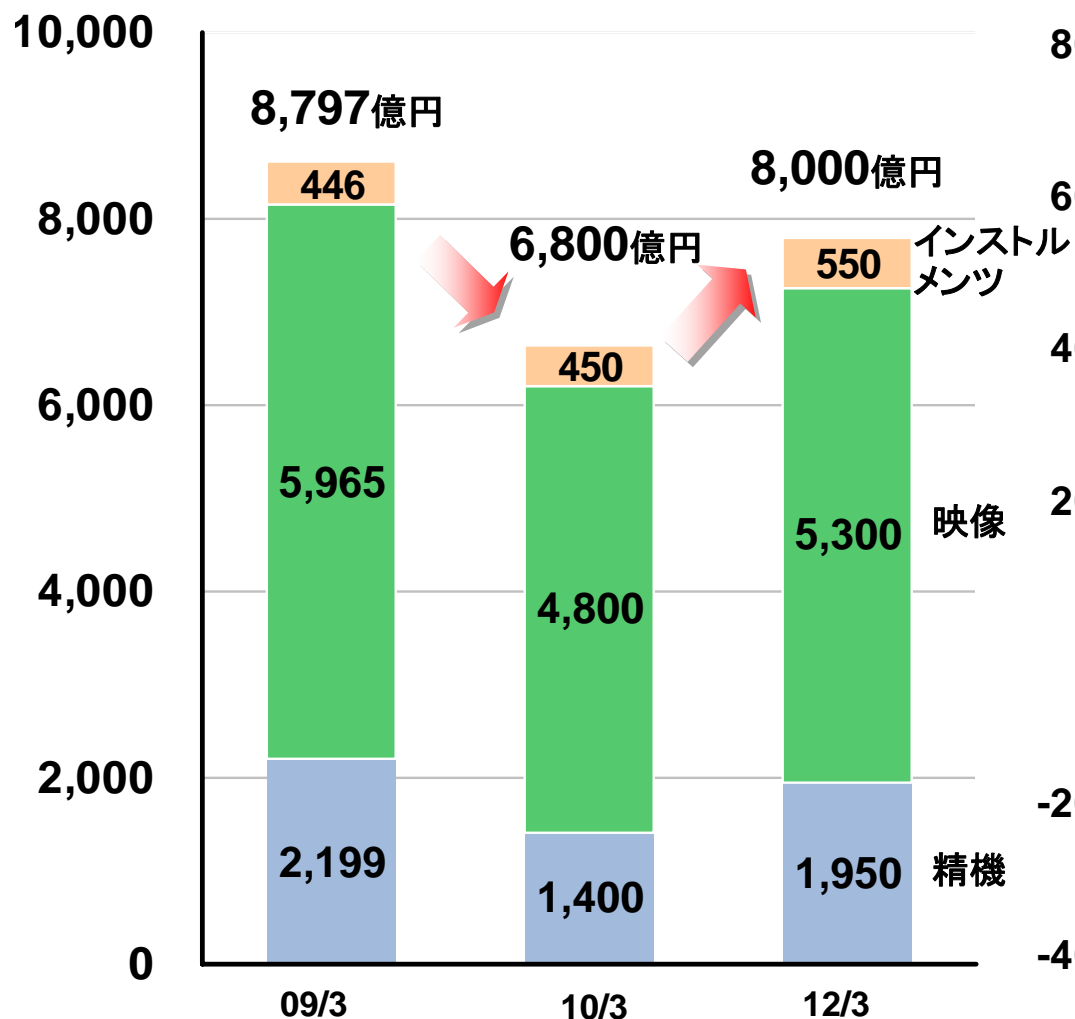
■ 成長持続のための製品開発

- 最先端露光装置の開発・製品化
- 次世代デジタルカメラの開発・製品化
- バイオ及び産業機器における新規開発を強化
- 新規事業の推進と新領域の探索

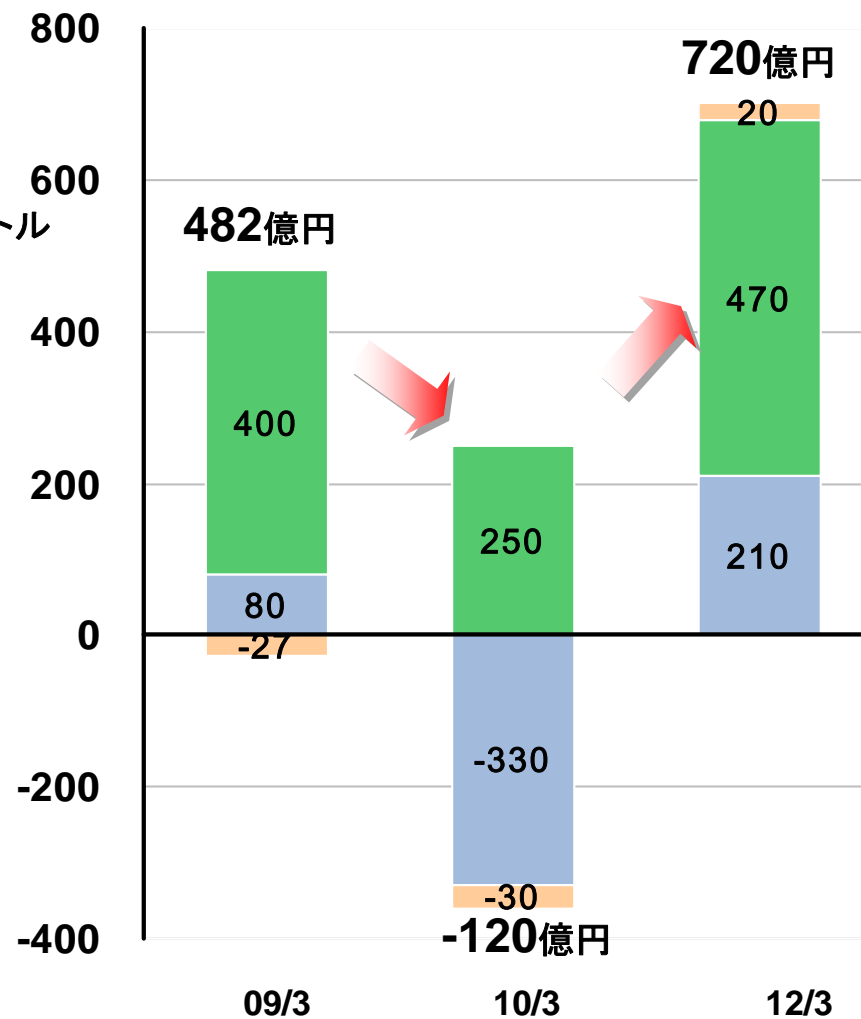
カンパニー別経営数値目標



売上高



営業利益

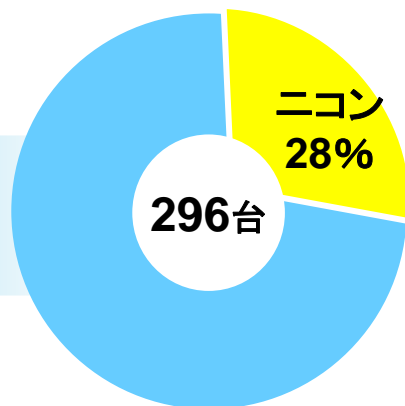


精機事業市場規模

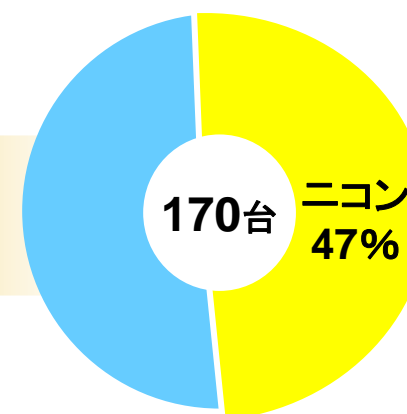


半導体露光装置(暦年)

2008年
55億ドル



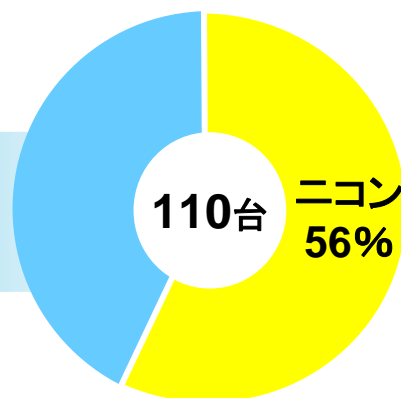
2011年
45億ドル



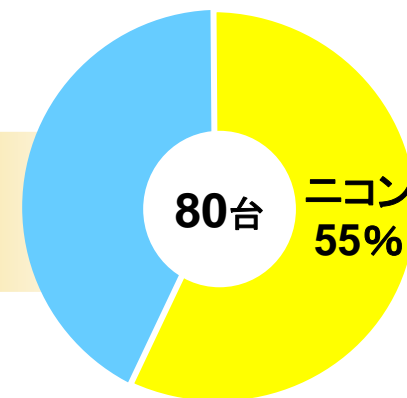
液晶露光装置(暦年)

*市場規模にはカラーフィルター用露光装置を除いています

2008年
1,300億円



2011年
1,200億円

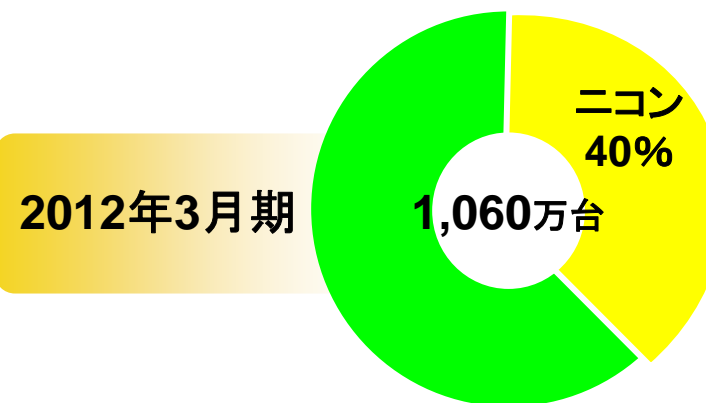
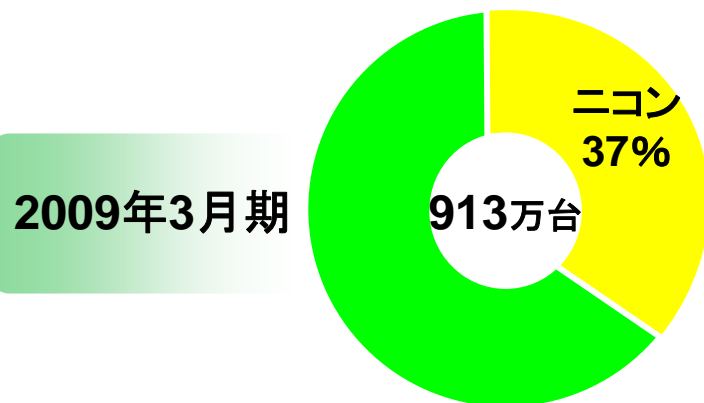


*ニコン推定

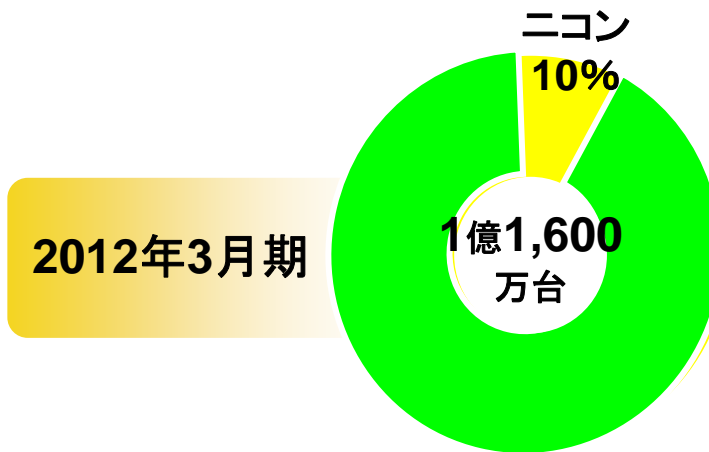
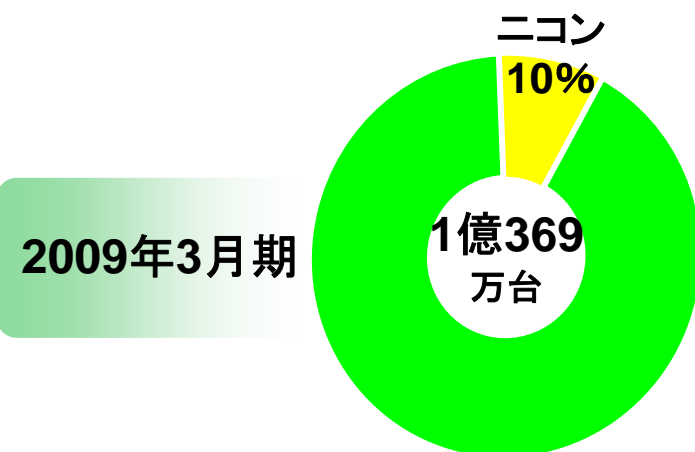
映像事業市場規模



デジタル一眼



デジタルコンパクトカメラ



*ニコン推定

設備投資・研究開発計画 (2010年3月～2012年3月期の累計)



対象領域を絞り込みながらも、景気回復局面に向けた開発・投資を実行



最先端分野への
積極的な投資



フルラインアップで
製品力強化

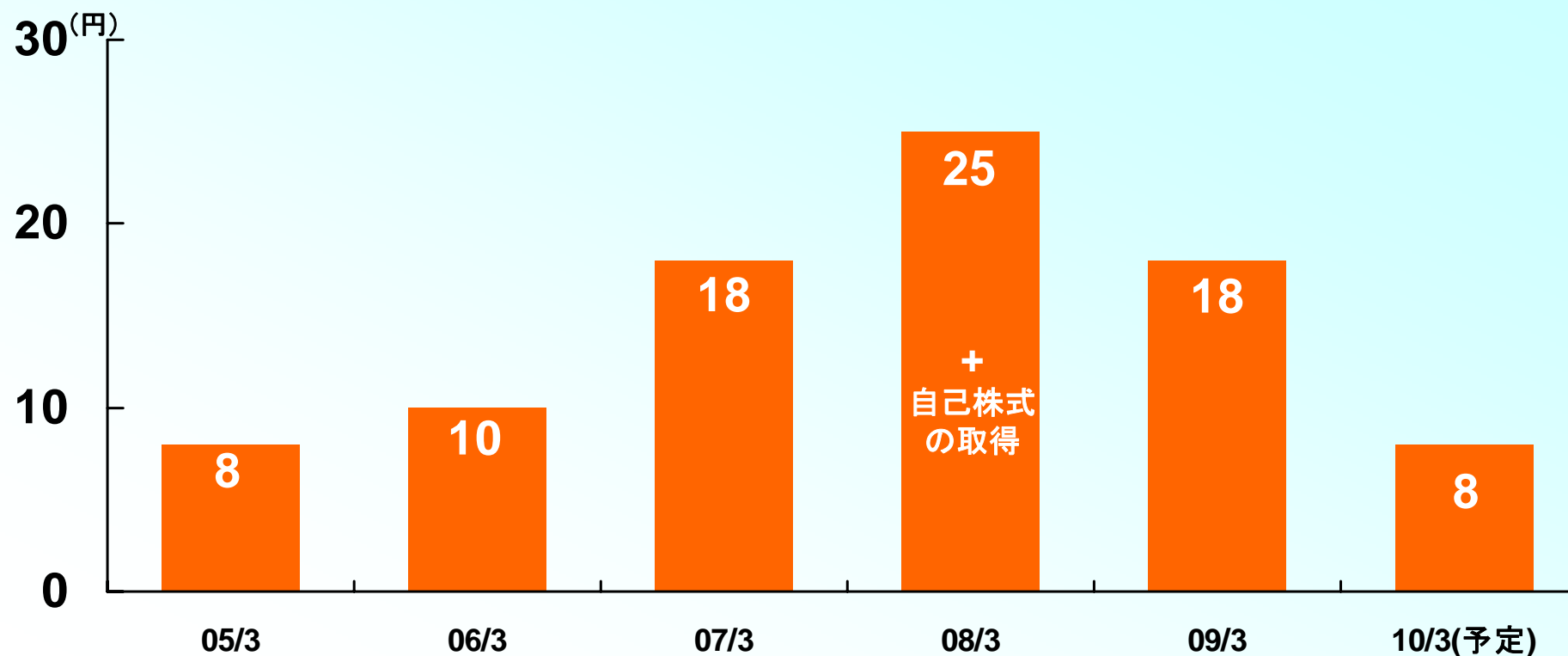


成長が期待できる
分野への製品投入

設備投資 : 総額1,100億円
研究開発費 : 総額1,700億円

総還元性向25%以上を目標とする

■ 1株当り配当金額推移



自己株式の取得期間: 2008年5月13日～2008年5月21日

取得した株式の総数: 3,713,000株

取得価額の総額: 120億円

2010年3月期

構造改革

2011年3月期

収益回復

2012年3月期

継続的成長軌道へ